

令和2年度 香川県病害虫発生予察特殊報 第3号

1. 病害虫名： ヨコバイ科の一種（和名なし） *Singapora shinshana* (Matsumura)
2. 発生物種： モモ、スモモ、ウメ、アンズ、オウトウ、ハナモモ、ハナウメ
3. 発生地域： 高松市、丸亀市、坂出市、三豊市、土庄町及び小豆島町

4. 発生経過

令和2年8月～10月にかけて、モモ、スモモ、ウメ、アンズ、オウトウ、ハナモモおよびハナウメの葉を加害するヨコバイ類を県下4市2町で確認した（写真1～7）。

発生圃場で採集した個体を九州大学大学院農学研究院 大原直通博士および神戸植物防疫所に同定を依頼した結果、本県未発生のヨコバイ科の一種（和名なし） *Singapora shinshana* (Matsumura) であることが確認された。

本種の発生は、国内では、沖縄県、和歌山県、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県および滋賀県で確認されている。海外では、中国、台湾、韓国および北朝鮮で確認されている。

5. 形態および生態

- (1) 本種の成虫の体色は黄緑色で（写真5）、体長は3.0～3.5mm。複眼は黒色で、頭頂部に黒点がある（写真6）。
- (2) 本種は、モモ、ナシ、ウメ、リンゴ等のバラ科果樹の他、サンザシ、ポポー、ポプラ等を加害することが報告されている。
- (3) 本種は、幼虫および成虫が葉を吸汁加害し、葉の表面が白化し、激しく加害された葉は落葉する。被害葉の裏側には幼虫の脱皮殻が付着していることが多い。

6. 防除対策

- (1) 令和2年12月9日現在、本種に対して適用のある農薬はない。
- (2) 発生および被害の早期発見に努め、発生を確認した場合は寄生している葉ごと速やかに除去し、適切に処分する



写真1 アンズの被害



写真2 ウメの葉裏で
静止している成虫



写真3 ウメの被害葉の裏に寄生している
幼虫と脱皮殻



写真4 モモの被害葉
(JA香川県 渡邊丈夫氏撮影)

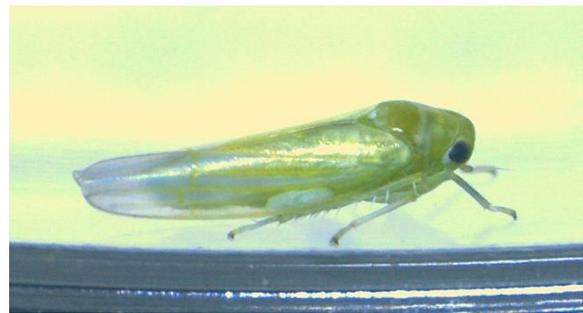


写真5 成虫 (横から)



写真6 成虫 (真上から)



写真7 幼虫